

5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4

電子複写不可



昭和二〇・三・三三〇・六二〇

第六十師団史実資料 (一)

32A 残務整理部

防衛研修所戦史部



132

(二) 料資實史團師  
第六十 ① 獨立步兵第十四大隊  
② 步兵第六十四旅團司令部  
二 ③ 獨立步兵第十五大隊  
師 ④ 獨立步兵第二十一大隊  
團 ⑤ 獨立步兵第三十五大隊

中繩作戰  
ニ於ケル

独立歩兵第十四大隊 史實資料

昭和二十二年三月二十五日  
第三軍機務整理部

独歩才士大隊経歴

昭和十八年六月二十八日

北支山西省孟縣ニ於テ編成完結

爾後同地ニ於テ警備及討伐

至昭和十九年四月一日

京冀作戰ニ参加同作戰ニ於テ軍司令官ヨリ

威嚇ヲ授ルナリ(裏城附近ニ於テ経備)

〃七月

北支河南省開封ニ集結移動及改編

〃八月五日

開封出発

〃〃九日

中文浙江省江湾ニ到着輸送準備

〃〃十七日

同吳淞港出帆

自二十年一月三十一日

中頭郡浦添村中西ニ在置ニ东島防衛

並ニ修築戰準備

自〃〃二月一日

中頭郡浦添村西原村野野村中城村

ニ移轉同地防衛並ニ修築戰準備

至〃〃三月二十日

独立歩兵第十四大隊戦闘経過ノ概要

1. 四月二十一日ヨリ二十二日朝迄知南方上空ヨリ敵機ノ大編隊現出シ。ト。砲ヨリ爆撃ヲ開始シ其ノ重要ヲ特ニ港湾及海岸地諸施設ニ指向セラルル軍ハ直ニ甲号戦備ヲ下令シ大隊ハ戦手配備ヲ完了セリ
2. 二十四日ヨリ五日艦砲及爆撃ヲ受テツツ晝夜兼行陣地ノ補強備築並ニ障害物ノ設置等ニ全カク傾注セリ
3. 二十五日。ト。砲ヨリ灣シ海面ノ揚動の傳上陸ヲ實施セリ
4. 四月一日。ト。砲敵ハ灣ヲ約共谷東江附近ヨリ上陸ヲ開始セリ其ノ兵力約三四ヶ師團ナルトノ如シ
5. 戦闘経過ノ概要共ニ四月二十一日ヨリ四月二十二日大隊ハ敵長ハ各下隊命令受領者ヲ果テ軍ノ企圖防衛ヲ針ヲ示シ大隊ハ企圖戦闘遂行要領ヲ下達ス

2. 四日敵ハ大隊ノ左方線タルヲ中隊正面ニ戦車五。兵力約五〇。以テ攻撃シ来ル第四中隊ハ全カク以テ之ヲ撃退セリ爾後第四中隊ハ約一週同敵邊出ヲ阻止シ敵ヲ續行セシモ四月二十二日大隊ハ位置ニ撤退シ本邦直接撃。戒ヲナス。
3. 一六八高地山腹ヲ南進セル敵ハ四月五日大隊ノ前進陣地タル第一中隊ノ正面ニ休五。口。五。兵力約五〇。以テ攻直シ来ルモ之ヲ撃退セリ
- 六日敵ト激闘ヲ續ケタル陣地一部ヲ奪取セラレ馬車攻撃ヲ受ク中隊全カク以テ之ヲ反撃セシモ成功スルニ至ラズ全ク敵ヲ占領スルトコロトナリ同夜三四。〇。期敵中ヲ撤退大隊ハ位置ニ達ス
4. 第五中隊ハ大隊ノ右第一線トシテ四月七日戦闘ヲ開始来襲セル戦車ニ。ヲ攔塞セシム爾後激闘ヲ續行シ四月九日夜本隊本部ハ位置ニ後退セリ
5. 第五中隊ハ八日夜南上原敵第一線ニ夜襲ヲ決行セリ爾後

戦子ヲ續行シ一四一高地附近ニ陣地ヲ占領シ四月十九日大隊本部位  
置ニ撤退セリ

6. 大隊砲中隊ハ南上原附近ニ陣地ヲ占領シアリタルモ四月三日夜戦  
ヲ開始シ敵ニ甚大ナル損害ヲ與ヘ敵戦車一五擲至セシメタリ爾後  
一四一高地ニ集結シ第四五中隊正面戦團ニ協力シ四月十九日大隊  
本部位置ニ撤退セリ

7. 機関銃中隊ハ大隊砲中隊ト略同位置ニ陣地ヲ占領シ一四五  
中隊ノ戦團ニ協力セリ特ニ岸田小隊ノ奮戦ハ敵ヲシテ膽ヲ  
寒クシタリ

十七日の事

8. 第二中隊ハ北ニ西原北側台上及我如古南側陸線ニ陣地ヲ  
占領シ四月十五日第二中隊正面ニ兵力約戦車五。歩兵六。ヲ  
以テ攻直ニ来リ第二中隊ハ奮闘之努メタシモ馬車攻直ヲ受ケ  
第一四一之ヲ撤退ニタルガ第二回日逐ニ陣地ヲ放棄スルノ由  
ナキニ至ル此ノ時中隊兵力大半ハ損耗セリ

9. 此處ニ於テ大隊ハ第十二大隊ニ配属セラレ西原大隊ノ線ニ四月  
二十日戦線ヲ整理シ戦子ヲ續行ニタルモ四月二十日旅團命令  
ニヨリ仲間前田ノ線ニ撤退シ陣地構築及戦車配備ニ就ク  
西原撤退時ニ於ケル大隊兵力ハ四月一日戦車開始時約四分一ナリ  
三. 戦車後退ニ就テ其ノ二回其ノ二  
四月十八日 仲間前田附近ノ戦車  
一. 大隊ハ相原ノ線ヲ撤退後大隊編成ヲ左ノ如ク改編シ仲間北  
側高地線ニ陣地ヲ占領ス

本部

木坂中隊(通信本部)一部及第三四中隊)

田宮中隊(機関銃中隊第三四中隊)

歩兵中隊(故ノ如シ)

公敵ハ嘉敷西原ノ陣地ヲ突破シ前田仲間線ニ迫ル  
大隊ハ仲間前田附近ノ戦線ニ一帯ヲ占領シ陣地構築ニ配属ス  
伊担附近ヨリ攻直ニ来ル敵ハ四月十九日仲間ヲ占領シ占領地

陣地ノ陣地ニ進ル大隊ハ、朝ヨリ又柳原附近ヨリ進出スル  
敵ハ大隊ノ右翼ヨリ朝原附近ニ四月二十日攻勢ニ来リ  
大隊ハ敵ハ攻撃ヲ阻ミテ砲兵陣地ヲ死守シ又復陣地ノ半ヲ  
シ續行ス

3. 田中隊ハ五日朝方朝原西側高地ニ現出スル敵歩兵約四〇〇  
ヲ射テ以テ射撃一時間ノ後其ノ大半ヲ殺傷セシメ他ヲ追退セリ  
又木坂中隊ハ仲間東上高地ニ於テ五月一日ヨリ十日迄連日砲撃  
ナレ敵ハ半ヲ殺傷シ線返シ同期間敵ハ約一〇〇ヲ殺傷シ又殺傷  
約一〇〇ノ戦果ヲ與ク

5. 歩兵中隊ハ塚原東側高地ニ陣地ヲ占領シ步兵中隊ニ協  
力大隊砲及迫撃砲以テ連日朝原仲間高地ノ線ニ現出スル  
敵ヲ射撃甚大ナル損傷ヲ與ヘタルニ同隊モ亦本戦中ニ於テ人員  
ノ過半殺傷ヲ受ク

6. 四月二十日ヨリ二十六日ニ砲兵中隊ナリニ歩兵中隊砲隊小隊

ハ五月四日朝原附近ニ砲兵中隊ニ依リ奮戦スルモ同日夕刻遂ニ全滅セリ

7. 五月四日軍令タテニ依リ砲兵中隊ニ参加シ協力セリ

8. 爾後左軍陣地ノ敵ノ吞食スル所ナリ又兵員ノ糧秣甚大ニテ戦況  
遂次我ニ不利トナレリ

9. 大隊ハ四月二十日ヨリ五月十日ニ至ル仲間前田ノ激戦ニ於テ勇戦取  
國セモ我亦兵員甚多ノ半ヲ失ヘリ

五月十日本戦中ニ對シ第六十三旅團長ヨリ演習ヲ授與セラル

10. 五月十日軍令タテニ基キ一部(木坂隊)ヲ別置シ戦線ヲ整理ス

四戦半後過ノ概要(自五月十日)内田共ニ首里附近ノ状況

1. 大隊ハ十二日敵ノ砲兵陣地ヲ占領シ首里附近ノ戦況ヲ不備隊ノナリ首里西北側  
ニ陣地ヲ占領シ安里附近ノ戦況ヲ不備隊ノナリ首里西北側  
陣地ヲ補備悉クニ戦半前シナス

部隊一部改編

機肉銃中隊第二中隊及部隊及部隊復歸志者ヲ以テ  
西野甲隊トス其ノ他左ノ如シ

五、戦半経過ノ概要 自六月五日 附圖其ノ大城附近ノ戦闘

一、大隊ハ本團命令ニ基キ五月二十八日夜部隊ヲ東詰首里出發

金良附近ニ部隊ヲ東詰置備ニ與那原附近ヨリ首里南方ニ突進

トシテスル敵ニ対シ首里ヨリ撤收スル部隊掩護ノ任ニ當ル

五月二十九日夜知念半島福福附近ニ侵入スル敵ニ対シ陣地ヲ占領

戦半ヲ準備ス

二、六月四日正午ヨリ西野中隊ハ一カ。高地ニ攻入シ未ル約三〇〇ノ

敵ト激闘人員被傷約七〇。自動小銃四獲シノ戦果ヲ望ムル

夕刻ニテ連退シタルモ中隊モ亦被傷二名ノ損害ヲ受ケタリ

木坂隊ハ大城西北側ノ高地ニ陣地ヲ占領シ午頃ヨリ約二〇〇ノ敵ヲ

受ケタルモ奮闘ノ後夕刻ニテ退却セリ

三、歩兵砲中隊ハ終日西野木坂西中隊ノ戦半ニ協力セリ

又六月四日夜本團命令ニ依リ日取名ニ轉進同也ニ於テ部隊ヲ集

結整理ス

六、翌五日夕日取名出發島尻郡米須ニ向テ轉進ス

六、戦半経過ノ概要 自六月六日 附圖其ノ米須附近外ハ高地戦半

ハ大隊ハ米須附近ニ撤退スルモ既屬劍持中隊及貨物隊ヨリノ

轉入者ヲ迎ヘ一部ノ編成替ヲ實施シ新ニ香藤中隊機関銃

中隊劍持中隊ヲ編成ス當時ハ大隊兵力大隊長以下五〇〇米須

西側及北側高地ニ陣地ヲ占領シ北ニテ海岸ニ対シ水際

戦半ヲ準備スルト共ニ併マテ陸上眞陸方面ヨリスル敵ニ対シ

戦半ヲ準備ス

七、六月十六日大隊ハ本團命令ニ依リ一部ヲ以テ眞又仁ニ主力

ヲ以テハ二高地ニ轉進ス

八、六月十九日朝来戦半ヲ約セ。敵ノ攻退ヲ受ケ本團



中ナリニ西野中隊木坂中隊ハ衆寡敵セズ夕刻迄ニ殆ト  
戦死ニ歿存者ハ同夜半ニ二三名ノ祖トナリ壯烈ナル斬込ヲ  
決行ス

又同日朝来九六高地ニ陣地ヲ占領シ在リタル奇隊中隊ハ敵  
歩兵約三〇。戰車一五ノ攻勢ヲ受ケタルモ勇戦取闘之ヲ甚  
退ナリ

タハニ高地ニ在リタル本部劍井中隊機関銃中隊歩兵砲中隊  
モ同十九日朝来東方及以西ノ兩側ヨリスル敵戦車約三〇歩兵  
約三〇ノ攻勢ヲ受ケタルモ夕刻ニ退ス

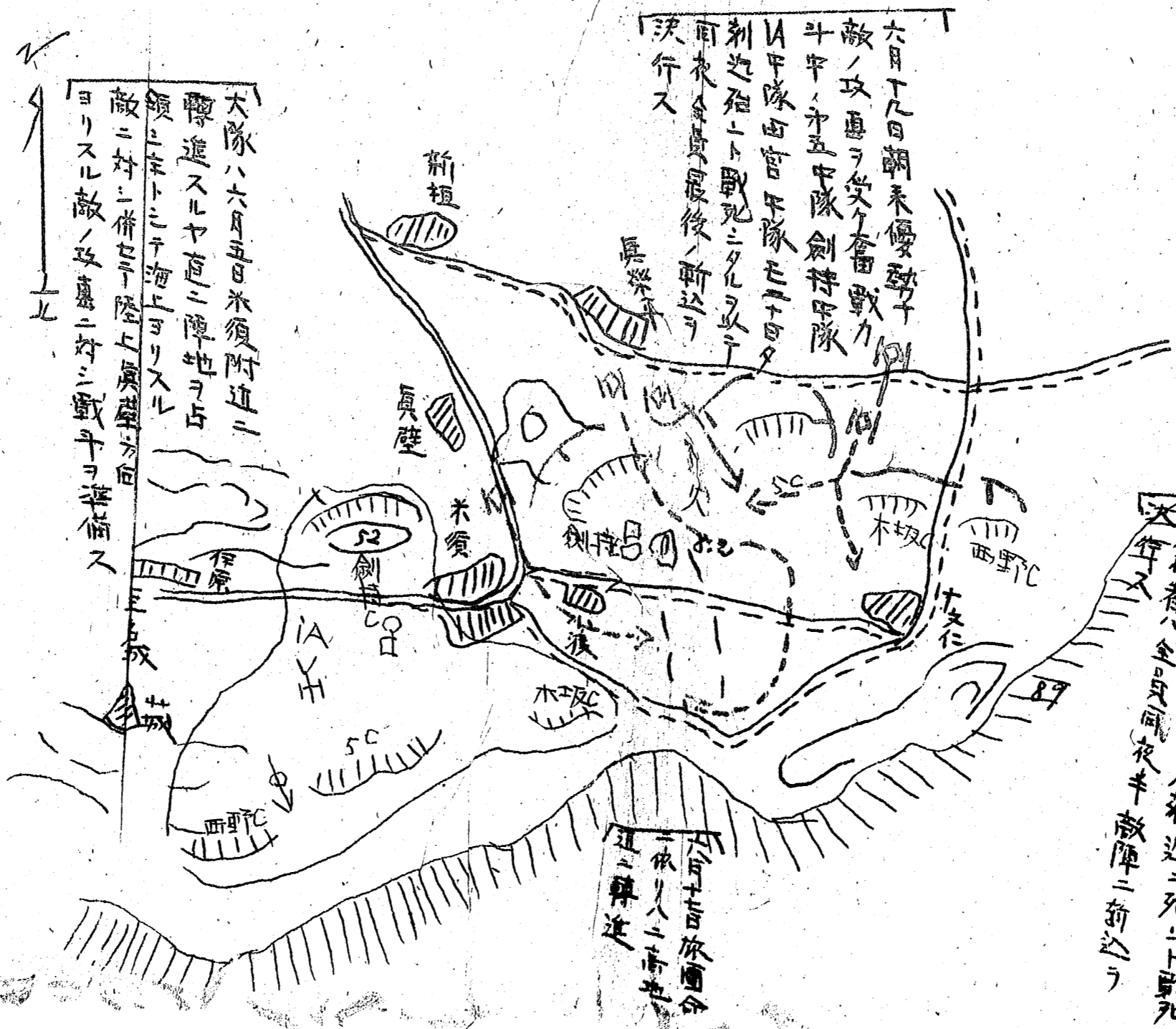
又翌六日朝来大隊騎兵優勢ヲ敵及敵戦車ノ攻勢ヲ受ケテ  
牛嶺ヨリ敵ハ陣地ニ再乘状態トナルモ全員奮闘夕刻迄  
戦半ヲ續行ス

昨日ヨリ勇戦取斗敵ニ多大ナ損傷ヲ與ヘタルモ大隊モ木  
各隊由敵戦車トナリ歿存者僅シトナレリ

同夜半大隊ハ師團命令ニ依リ残存者ヲ以テ二三名  
ノ祖ヲ編成遂次全員敵陣ニ斬込ヲ決行ス

日六月六自至 圖要道經戰/ 迹附地高二八及須米

附圖其五



六月十九日朝未敵戰軍約三〇歩丈  
 敵ノ攻退ヲ受ケ奮戦力  
 斗中ノ中隊劍持隊  
 以中隊由官軍隊モ中隊  
 剣持始ニト戦死ニタルヲ以テ  
 自夜全員最後ノ斬込ヲ  
 決行ス

大隊ハ六月五日米須附近ニ  
 襲進スルヤ官ノ陣地ヲ占  
 領ニテトミテ海上ヨリスル  
 敵ニ対シテ陸上真壁方面  
 ヲリスル敵ノ攻退ニ対シテ戦平ヲ準備ス

六月十九日朝未敵戰軍約三〇歩丈  
 西野木坂所中隊ハ剣持ニ始ニト戦死  
 現存者ハ全員自夜全員最後ノ斬込ヲ  
 決行ス

六月十九日朝未敵戰軍約三〇歩丈  
 一依リ人ニ斬込  
 決行ス

四月三日  
至四月十二日

棚原我如古南上原附近戰綫要道圖

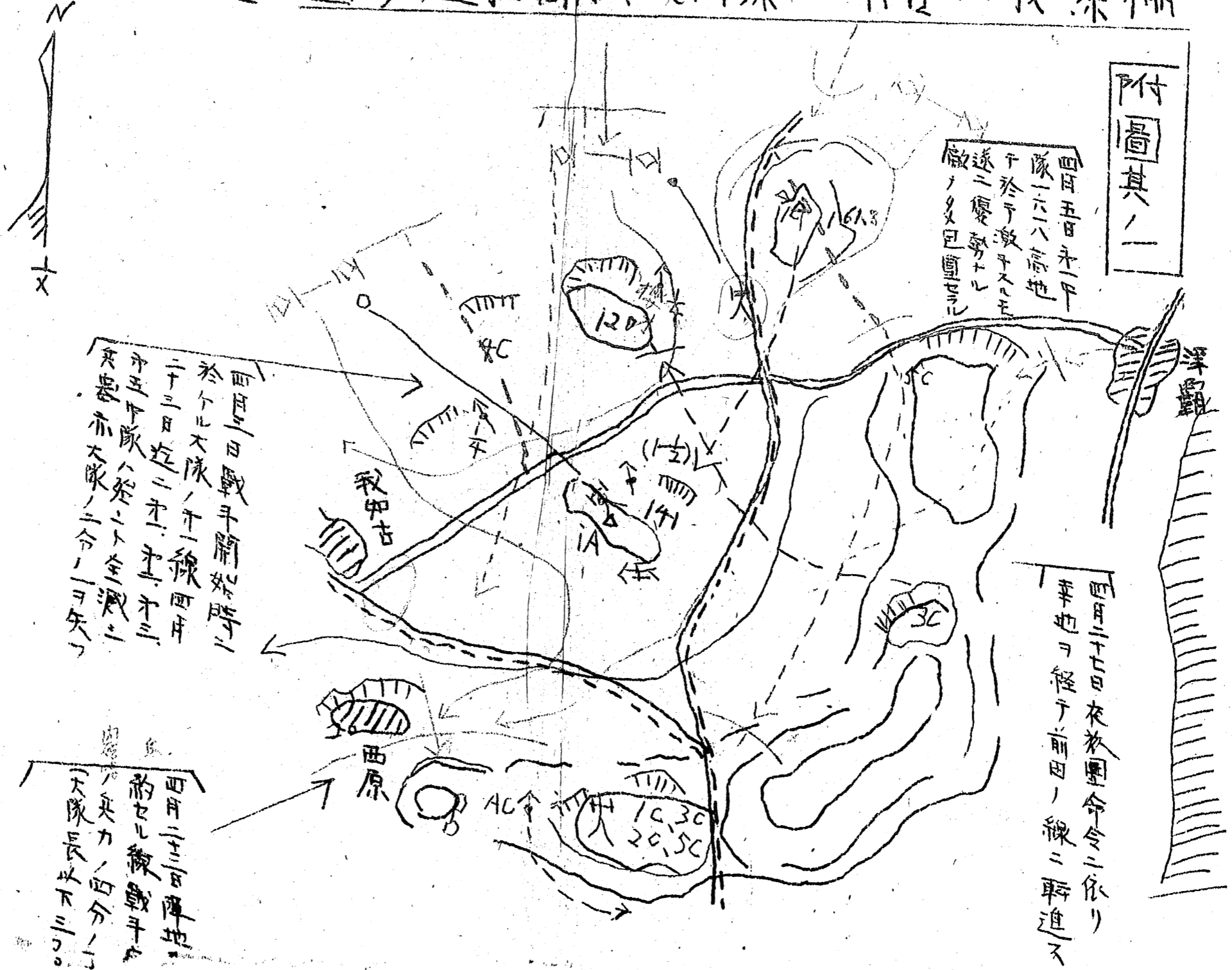
附圖其一

四月五日午  
隊一六八高地  
於於于敵手入  
遂ニ優勢ナル  
敵ノ又巨團ヲ

四月十四日戰事開始  
於此大隊ノ一線  
二十五日迄ニ  
中五下隊ハ於  
兵表亦大隊ノ  
司令ノ可矢

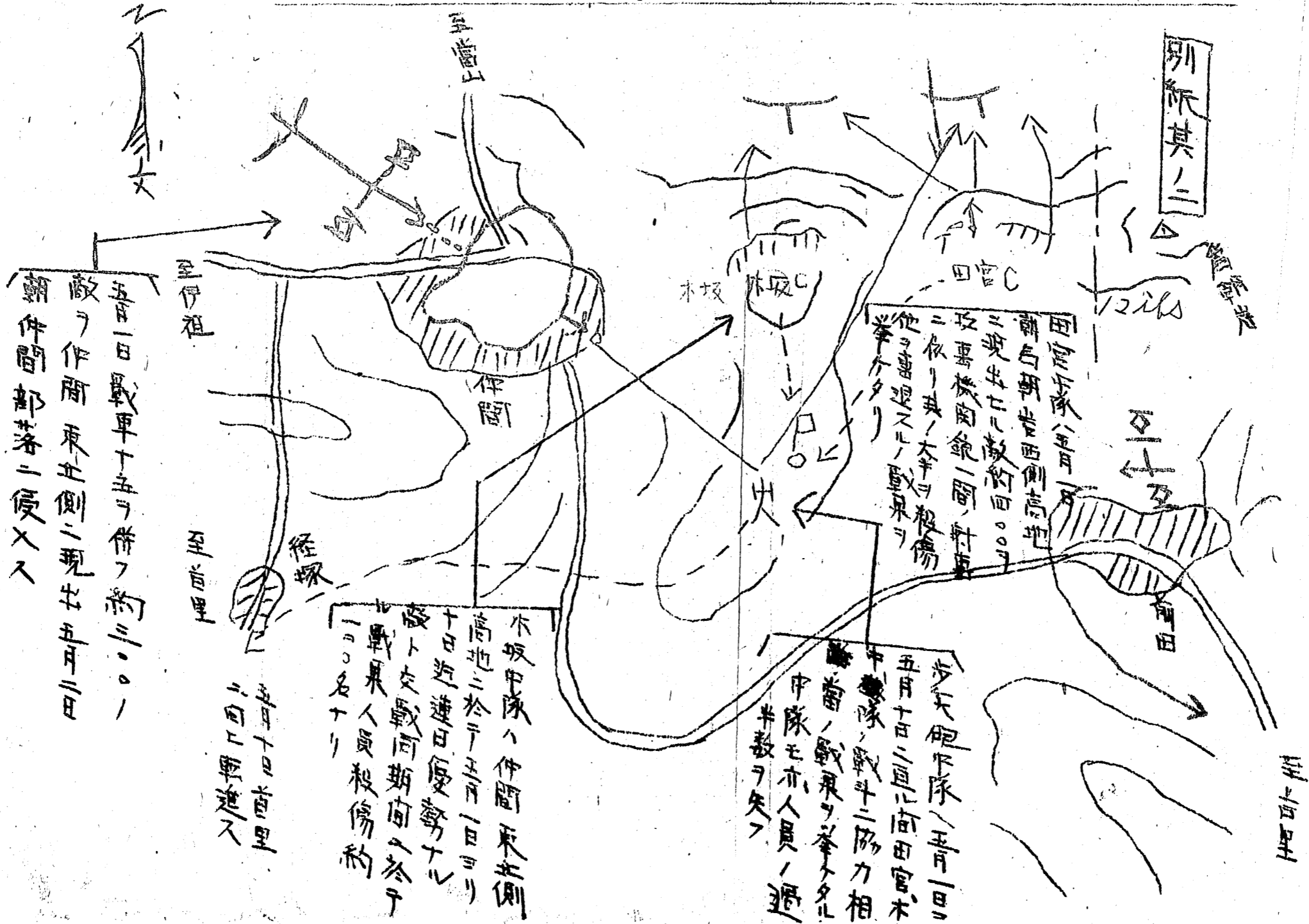
四月二十三日陣地  
約セル後戰事  
ハ兵力ノ四分  
一大隊長以下

四月二十七日夜敵團命令ニ依リ  
幸地ヲ移テ前田ノ線ニ轉進ス



日八十二月四年五  
日十月五

圖要過経關戰近附田前間仲



五月一日戰軍十法ヲ併フ勢ニ  
敵ヲ仲間前田側ニ現セザルニ日  
仲間前田ヲ落シ侵入ス

田宮前田  
韓白明光西側高地  
ニ現セザル敵約四百  
攻勢ヲ斷絶シ一箇ノ村軍  
ニ依リ其ノ大半ヲ殺傷  
他ノ諸隊ノ一ノ隊果シテ  
撃テタリ

歩兵隊下隊ノ五月一日  
五月十日ニ向田宮木  
中隊ヲ戰斗ニ協力相  
敵前ノ戰果ヲ奪テタル  
中隊モ亦人員ノ過  
半殺ラ失フ

木坂中隊ハ仲間前田側  
高地ニ於テ五月十一日ヨリ  
十日迄連日復勢ナリ  
敵トテ戰同期前入於テ  
戰果ノ員殺傷約  
一〇〇名ナリ

五月十日高田  
ニ向テ軍進ス



別所其二

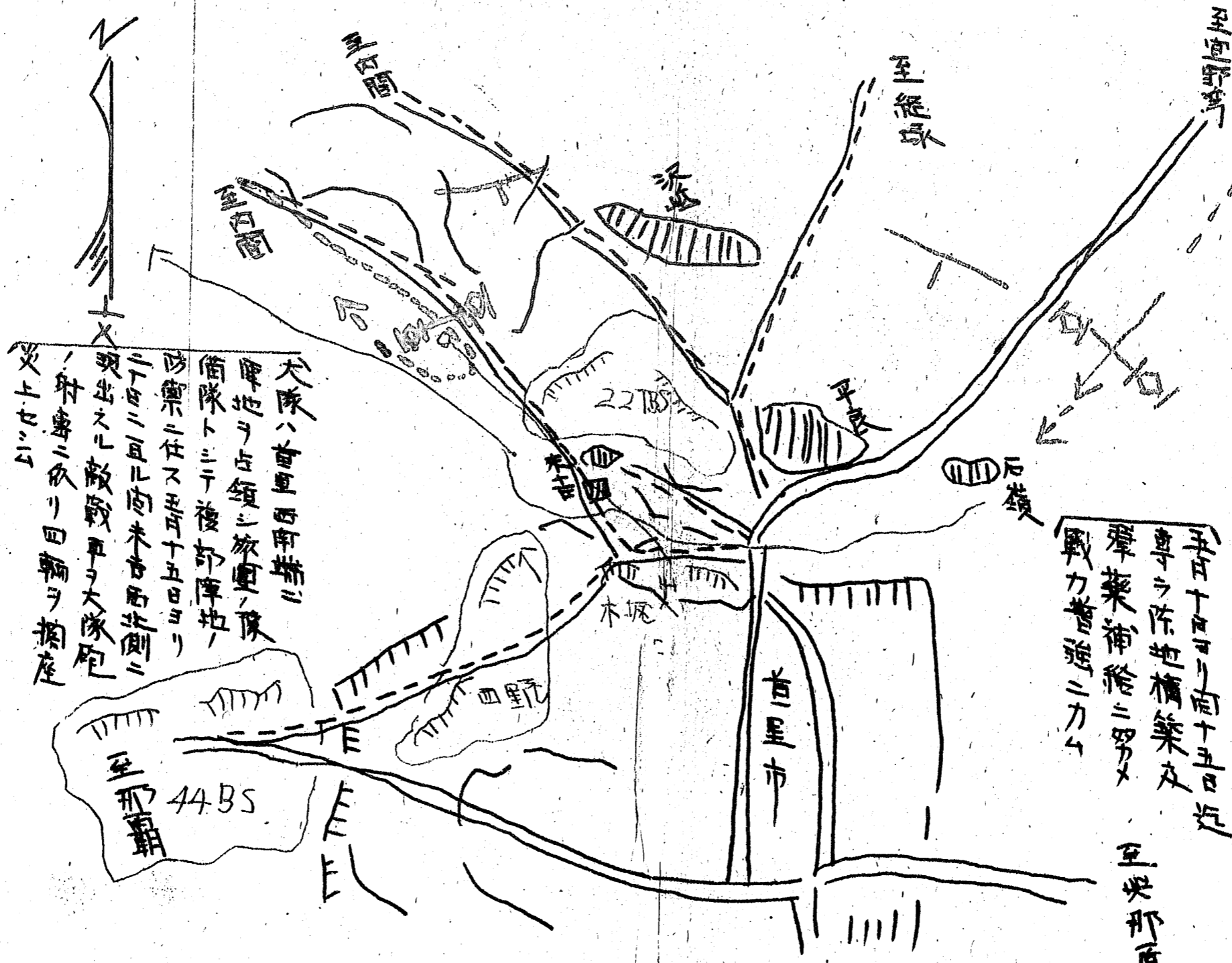
高田

高田

首里附近我軍経路要圖 首里附近我軍経路要圖

日十月五日 日十二月五日

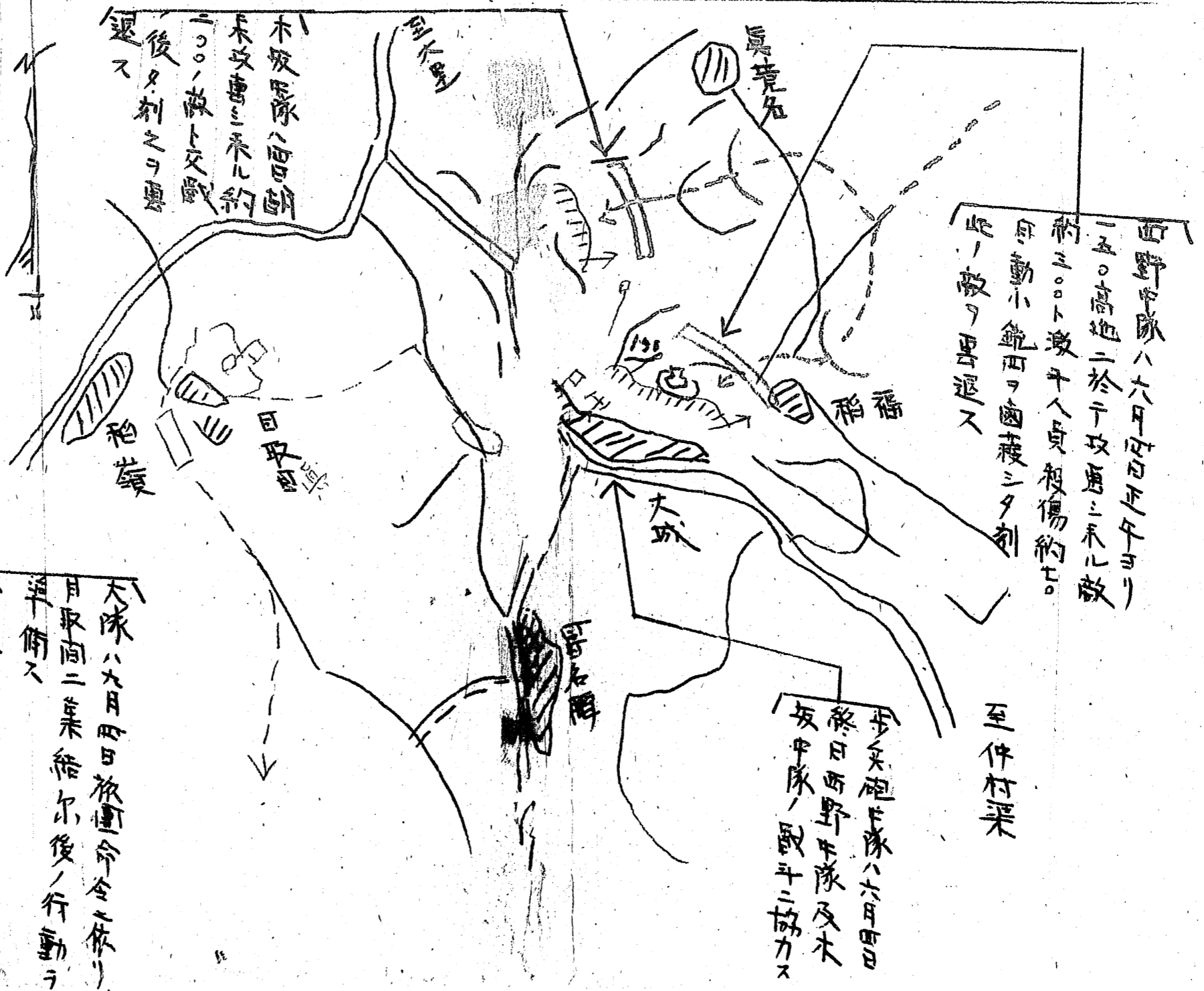
附圖其之三



大隊の首里西南端ニ  
陣地ヲ占領シ旅團ノ豫  
備隊トシテ後部陣地ノ  
防禦ニ任ス其時十五日ヨリ  
二十日ニ亘ル内未ダ西側ニ  
現出スル敵戦車ヲ大隊砲  
ノ射撃ニ依リ四輛ヲ擧座  
炎上セシム

手付十四日以前十日口迄  
陣地ヲ築キ  
羣衆街路ニ入り  
戦力増強ニ力ム  
至那覇原

大城附近戰經道要圖 (附圖四) 自五月二十八日 至六月五日



西野隊ハ六月四日午ヨリ  
一五〇高地ニ於テ攻盾ニ承ル敵  
射ヲ受テ幾半ノ員殺傷約セ。  
西野隊ハ西ノ面ヲシテ刻  
度ノ敵ヲ退入

歩兵砲隊ハ六月四日  
終日西野隊及木  
坂中隊ノ戦力ニ協力ス

至伴村渠

木坂隊ハ四日  
未攻盾ニ承ル約  
ニシテ敵ト交戦  
後々刻ニシテ退  
入

大城ハ六月四日旅團命令ニ依リ  
目取間ニ集結ル後ノ行動ヲ  
準備ス  
六月五日目取陣真境名  
中備地未復ニ向テ出陣ス

64B

大州形勢圖 (附圖)



沖繩作戰ニ於ケル歩兵第六十四旅團戰鬪経過概要  
附部隊歴史概要

昭和二十二年三月二十五日

第三十二軍残務整理部





同年七月十二日熊兵團ニ警備繼承シ神繩轉進、爲新郷附  
近ニ集結シ八月五日出發上海ニ向ヒ同月十六日上海吳淞港  
出發神繩ニ向ヒ二十日那霸港ニ上陸ス

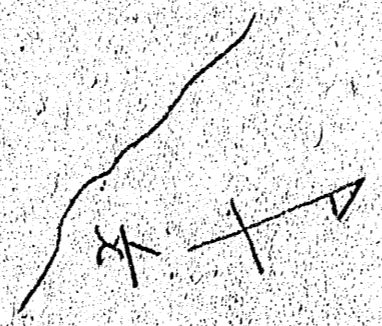
戰事經過概要

昭和十九年八月二十日神繩本島上陸後本島中部地区防衛並作戰  
準備ニ任ズ其兵力配備別紙一因、如シ  
司令部ハ主陣地及豫備陣地ヲ構成シ主陣地ヲ喜舎場ニ豫備  
陣地ヲ山内ニ設ケ兵力ヲ二分シ晝夜兼行陣地ヲ構築ヲ行フ  
昭和十九年十月廿日米軍陣地半ハ構築中神繩ハ米第五十八機動部  
隊ノ攻撃ヲ受ケ六時頃ヨリ十六時頃迄主トシテ飛行場制圧及  
那覇港及停泊中ノ船舶ニ攻撃ノ重兵カ指向セラレタ  
此時司令部ハ喜舎場ニ在リテ對空射撃部隊ヲ一小隊編成喜舎  
場山ノ二四八七高地ニ配備シ他ハ阻開遮蔽損害極少ニ努メタリ  
爲ニ司令部ハ損害ナク旅團管內ニ於テ八十五大隊警備地域内  
中飛行場近クノ民家ノ焼失ニ三軒ヲ生セシメタル外人員ニ損害  
ナカッタ  
一〇一〇空襲ニ引續キ予台湾神航空戦ナリ、フリップピン東方海戦  
ニ及ビワイデ、レイデ島作戰カ行ハレタ爲陣地構築ニ一大拍車ヲ加テ  
行ハレタ

昭和十九年十二月ニ入ルヤ武部隊(90)南方転進ニ伴ヒ陣地交搜  
 カ行ハレ当旅團ハ知念半島ニ転進シ司令部ハ高宮城ハ大皇國民  
 學校ニ移スルハ係數2100ハ久手里ニハ砲井ニ夫ニ位直ニ敵上陸合算  
 地兵ハ漆川及與那原トシテ陣地構築カ行ハレタ(兵力配備別紙  
 ニ因リ如シ)

知念半島警備ニ在リテハ一月三日、一月三十一日ノ大空襲(昭和三年)  
 及少数機ノ空襲アリタド損害ハ殆ニトナク僅カ港湾  
 ニ停泊中ノ帆船カ損傷ヲ受テタ程度デアリタ知念半島防衛時  
 ニ於ケル旅團軍隊ニ分ハ左ノ通りデアル  
 独立機銃第十四大隊(目頭真) 独立速射砲第三十中队(富名腰)  
 独立歩隊 15. 21. 23. 重砲第七隊(與那原)

24D



八月二十日ヨリ十二月七日ヲノ警備地區